

へいせい ねん ど だい き かわさき く く みんかい ぎ
平成28年度第6期川崎区区民会議

だい かい す ぶ かい て き ろ く
第5回だれもが住みたいまちをつくる部会摘録

にち じ へいせい ねん がつ にち げつ ご ご じ ぶん
日 時：平成28年12月12日（月）午後6時30分

ば しょ かわさき く やく しょ かい かい ぎ し つ
場 所：川崎区役所7階会議室

しゅつせきしや けいしやうりやく
出席者（敬称略）

い い ん めい
委員 9名

あらい と き こ え も り ち え こ た か ほ し よ り こ ち ね ん じ ょ あ ん な の う じ ょ う し げ の ぶ ば く ち ゃ ん ほ
新井トキ子、江守千恵子、高橋順子、知念ジョアンナ、能條重信、朴昌浩、
は ら ち よ こ み ね お て ら す も り わ き た く ろ う
原千代子、峯尾照、森脇卓郎

けつせき すやまよしこ
欠席 須山令子

ぼうちょう にん
傍聴 0人

しんこう まちだきかくかちょう
(進行：町田企画課長)

かい かい
1 開会

- い い ん しゅつせき かく に ん
委員の出欠の確認
- かい ぎ こう かい かい ぎ ろ く かい じ かい ぎ き ろ く こう ほう し ゃ し ん さ つ え い な ど せ つ め い
会議の公開、会議録の開示、会議の記録、広報としての写真撮影等の説明、
ぼうちょうし ゃ かく に ん
傍聴者の確認
- は い ふ し り ょ う かく に ん
配布資料の確認

しんこう はらぶかいちょう
(進行：原部会長)

ぎ だい
2 議題

しん ぎ か だ い し り ょ う
(1) 審議課題について（資料1）

しん ぎ か だ い し り ょ う しん ぎ か だ い も ち じ む き よ く せ つ め い
審議課題について、「資料1：審議課題について」を用いて、事務局が説明を
お こ な
行った。

しん ぎ か だ い い け ん こ め ん と い か
審議課題について、意見・コメントは以下のとおり。

は ら ぶ かい ち ょ う しん ぎ す す あ ち い き じ ょ う ほう ま ッ プ さ く せ い ほう こう は な し
原部会長 審議を進めるに当たり、地域情報マップを作成していく方向で話を
す す しん ぎ て い ま ち い き み ま も かつ とう す い し ん こう れ い し ゃ
進めています、「審議テーマ1：地域による見守り活動の推進」では高齢者に
む ち い き じ ょ う ほう ま ッ プ しん ぎ て い ま こ そ だ し え ん じ ゅ う じ つ こ そ だ せ だ い
向けた地域情報マップ、「審議テーマ2：子育て支援の充実」では子育て世代
む ち い き じ ょ う ほう ま ッ プ り ょ う ほう て い ま ち い き じ ょ う ほう ま ッ プ
に向けた地域情報マップということで、両方のテーマで地域情報マップづ
くりをすることになっています。マッ プ の 範 囲 が 川 崎 区 全 体 と す る の か、 地 域
し ぼ ち い き し ぼ ば あ い す す き
を絞ってやっていくのか、地域を絞る場合にはどのように進めていくかを決め
ていければと思います。川崎区全体のものは、行政が作成しているものもあ
り、既に多くの方に活用されているものもあるので、どのような方を対象に、

どのような情報^{じょうほう}を発信^{はっしん}していくのかを考^{かんが}えていかなければいけません。

<審議^{しんぎ}テーマ1：地域^{ちいき}による見守り^{みまも}活動^{かつどう}の推進^{すいしん}>

<審議^{しんぎ}テーマ2：子育て^{こそだ}支援^{しえん}の充実^{じゅうじつ}>

森脇委員^{もりわきいん} 私は前回^{わたくし}欠席^{いめーじ}してしまいましたが、私がイメージ^{すこ}していたものと少し^{こと}異なります。私が考^{わたくし}えていたのは、まず第5期^{だいご}の取組^{とりぐみ}の発展^{はってん}ということで、大^{だい}師^し・田^た島^{じま}・中^{ちゅう}央^{おう}地^{ちく}区^くのそれぞれで、見守り^{みまも}活動^{かつどう}をやっている団^{だん}体^{たい}を取^{しゅ}材^{ざい}し、第5期^{だいご}の良^{だい}い事^き例^{れい}として紹^{しょう}介^{かい}しながら普^ふ及^{きつ}させていくというイメー^いジ^じをも^も持^もっていました。

また、地域^{ちいき}情^{じょう}報^{ほう}マ^まッ^ぷの作^{さく}成^{せい}では、前^{ぜん}回^{かい}の議^ぎ論^{ろん}の結^{けつ}果^かでは、そのマ^まッ^ぷの対^{たい}象^{しょう}者^{しゃ}が高^{こう}齢^{れい}者^{しゃ}や子^こ育^{いく}て世^せ代^{だい}となっ^なって^って^てい^いま^ます^すが、私^{わたくし}のイメー^いジ^じでは、高^{こう}齢^{れい}者^{しゃ}の^みま^もを^をや^やっ^って^てい^いる^る側^{がわ}、子^こ育^{いく}て支^し援^{えん}を^をや^やっ^って^てい^いる^る側^{がわ}に^{たい}対^{たい}して、その活^{かつ}動^{どう}の^しえ^ん支^し援^{えん}に^にな^なる^るよ^よう^うな^なマ^まッ^ぷづ^づく^くり^りを^をや^やっ^って^てい^いく^くイメー^いジ^じで^でした。見^み守^{まも}り活^{かつ}動^{どう}や^や子^こ育^{いく}て支^し援^{えん}活^{かつ}動^{どう}を^をし^して^てい^いる^る方^{かた}が、その活^{かつ}動^{どう}で使^{つか}っ^って^てい^いける^るよ^よう^うな^なマ^まッ^ぷで^です。実^{じつ}際^{さい}に^にひ^ひと^とり^り暮^くら^らし^しを^をし^して^てい^いる^る高^{こう}齢^{れい}者^{しゃ}が^{つか}マ^まッ^ぷで^では^はあ^あり^りま^ませ^せん。マ^まッ^ぷだ^だけ^けで^でな^なく、支^し援^{えん}活^{かつ}動^{どう}を^をす^する^る側^{がわ}の^{ひと}が^{かつ}活^{かつ}動^{どう}を^をし^しや^やす^すい^いよ^よう^うに、こ^{じょう}う^{ほう}い^いつ^つた^た情^{じょう}報^{ほう}は^はこ^こに^に載^じっ^って^てい^いま^ます^すよ^よと^とい^いつ^つた^た一^{いち}覧^{らん}表^{ひょう}な^など^どは^は作^{さく}成^{せい}し^して^てい^いい^いと思^{おも}い^いま^ます。

そして、もし可^{かの}能^{のう}で^であ^あれ^れば、マ^まッ^ぷは^は活^{かつ}動^{どう}を^をし^して^てい^いる^る各^{かく}団^{だん}体^{たい}が^じしゅ^{しゅ}せ^{せい}い^いも^もつ^つて^て自^じ分^{ぶん}た^たち^ちで^で作^{さく}成^{せい}し^して^てい^いける^るよ^よう^うな^なマ^まニ^にュ^ゅア^あル^るを^を作^{さく}成^{せい}し^して、第^{だい}5^ご期^きの^とり^りぐ^ぐみ^みで^であ^ある^る事^じ例^{れい}紹^{しょう}介^{かい}と^まッ^ぷづ^づく^くり^りの^{かつ}活^{かつ}動^{どう}を^を一^{いっ}っ^っし^しょ^ょに^に普^ふ及^{きつ}・啓^{けい}発^{はつ}し^して^てい^いけ^けれ^れば^ばと思^{おも}っ^って^てい^いま^ます。

みねおいいん 峯尾委員^{たし} 確^しか^かに^に支^し援^{えん}活^{かつ}動^{どう}を^をし^して^てい^いる^る方^{かた}た^たち^ちに^む向^むけ^けて^て作^{つく}る^るマ^まッ^ぷは^は、喜^{よろこ}ば^ばれる^ると思^{おも}い^いま^ます。「審^{しん}議^ぎテ^てマ^ま2^に：子^こ育^{いく}て支^し援^{えん}の^{じゅう}じ^{じつ}充^{かん}実^が」で^ち考^ちえ^いる^る地^ち域^き情^{じょう}報^{ほう}マ^まッ^ぷと^の仕^しわ^わけ^けは^は考^{かん}え^えて^てい^いか^かな^ない^いと^おい^いけ^けな^ない^いと思^{おも}い^いま^ます。

のうじょういん 能^{のう}條^{じょう}委員^{いん} 私^{わたくし}は、高^{こう}齢^{れい}者^{しゃ}や子^こ育^{いく}て世^せ代^{だい}に^む向^むけ^けた^たマ^まッ^ぷと^いう^うこ^こで^で前^{ぜん}回^{かい}は^{かん}考^{かん}え^えて^てし^しま^まっ^って^てい^いま^ます^すが、支^し援^{えん}活^{かつ}動^{どう}を^を行^{おこな}っ^って^てい^いる^る側^{がわ}の^{ため}の^マッ^ぷと^いう^うこ^こと^とは、む^{とく}し^ろそ^それ^れが^が特^{とく}徴^{ちゆう}的^{てき}に^なり^り、行^{ぎょう}政^{せい}も^だ出^だし^して^てい^いな^ない^いよ^よう^うな^な今^{いま}ま^まで^でに^ない^いマ^まッ^ぷづ^づく^くり^りや^{じょう}情^{じょう}報^{ほう}提^{てい}供^{きょう}が^がで^でき^きる^る気^きが^がし^しま^ます。

ちねんいん 知^ち念^{ねん}委員^{いん} 支^し援^{えん}活^{かつ}動^{どう}を^をす^する^る側^{がわ}の^{かた}は^{わか}、若^{わか}い^{ひと}人^{ひと}が^お多^おい^いの^かみ^みで^での^マッ^ぷは^はあ^あま^まり^り持^もた^たな^ない^いの^いで^でな^ない^いで^でし^しょう^うか。今^{いま}は^すマ^まー^とフ^{おん}等^{など}で^しら^らべ^べる^るこ^こが^が主^{しゅ}流^{りゅう}に^にな^なっ^って^てい^いま^ます。

高橋委員 マップづくりは、こちらの部会でもそうですが、進めよう川崎まちづくり部会でも作成する議論をしています。行政でも多くのマップがあり、様々な場所に置かれていますが、実際に作ったとして見てくれるのかなという疑問は確かにあります。マップづくりをやるのであれば、支援活動をする方々を支援する意味で、一緒にマップを作っていくことの方が、興味を持って活用してくれる気がします。

江守委員 ここに何があるといったような情報マップは、多く出回っており、それをもっと身近な地域に絞って作るという考えもあると思います。しかし、鋼管通二丁目の場合は、町会に加入していない家庭も含めて、全家庭の情報を持っており、実際に災害が起きた時に、支援が必要な方を把握しています。個人情報の問題もあり、なかなか難しいですが、そのようなことが全町会でできればいいと思います。

新井(ト)委員 第5期とのつながりから考えると、支援活動を行っている方々に向けた情報マップづくりが良いと思いますが、それには個人情報の問題が絡んでくるので、ごく一部の方しか持てないマップを作るということになると思います。逆に、誰もが見られるマップを作るのであれば、一般的な情報しか掲載できず、ありふれたマップと似たようなものになってしまいます。

原部会長 支援活動をしている側への情報マップということは、どのような視点で作っていくかを考えなくてはと思います。前回、峯尾委員が出してくれたマップは、民生委員からの視点で作られていると思います。

森脇委員 我々区民会議が支援活動をしている人に向けてマップを作成するのではなく、それぞれ支援活動をしている方が自分で作るマップ、自分で必要な情報を落とせるようなマップを作ることを想定し、区民会議ではその土台を作り、普及・啓発していくイメージを持っています。

マップの範囲や必要な情報などは、支援活動をしている方それぞれ異なるので、それぞれ自分達の立場で考えて作成し、それぞれの活動に役立つマップです。

子育ての視点で考えると、保育園や子育て支援センター、公園などがどこにあるかを各自が記載していきます。もちろん頭ではわかっていると思いますが、改めて自分でマップを作成し、子育てに役立てていくことができると思

います。世代や立場によって記載していく内容が異なり、自分だけの役立つマップができるイメージです。

新井（ト）委員 我々が区民会議としてどこまでやればいいのでしょうか。地図を白紙で配布するわけではないでしょう。

森脇委員 極端な話で言えば、白紙で配布していくこともアリだと思います。ただ、白紙で渡しても何を記載すればいいのかわからないので、例示で様々なものを示す必要はあると思います。

峯尾委員 自分で作成するマップであれば、個人情報については気にせずに記載できると思います。

森脇委員 ただ、地図をどのように入手するのか、それとも事務局から提供するのかという面では、少し課題があると思います。ゼンリン住宅地図を使うわけにはいかないとおもいます。

新井（ト）委員 個人宅の名前が記載されている地図でもダメだと思います。

能條委員 行政であれば地図情報を持っていると思うので、どこで入手できるのかということだけ案内しておけばいいかもしれません。

知念委員 町内会に入っていない方は、意外と情報を持っていないかもしれません。郵便局や銀行、公園などの施設の情報は簡単に入手できるので、記載する必要はないと思います。しかし、地域でこういった活動がある、お母さんのための子育て相談窓口がここにある、こういった行政サービスがある、というような情報は意外に知らないのではないのでしょうか。そういった情報の方が大切であり、多くの方が知りたい情報だと思います。

原部会長 今まで出た意見をまとめると、一般区民が使うマップはもう行政からも多くのマップが出ているので、作っても重複してしまうということで、支援活動をしている側の方がその活動に役立つようなマップを自分の手で作っていくというご意見が出たと思います。これについては、様々な立場の人を集めてマップづくりワークショップなどをやったりしないと、なかなかまとめ

ていくことは難しい気がします。

また、区民会議として何ができるか、何を提案すべきか、ということを考えてきた時に、様々な支援活動をしている方々がどのような情報を求めているのかを整理して、議論していく方向性だと感じます。高齢者、子育て、外国人など、それぞれの視点を持ちながら、支援していく情報や資源などをしっかり整理してまとめていくことが、区民会議としてできることかと思えます。

あまり総花的になると収集がつかなくなってしまうと思うので、定版的に民生委員さんに役立つもの、町会に役立つものを整理してみて、まとめていくことで充分良いと考えています。

高橋委員 それぞれの立場の方が、どういったことを知りたいのか、どんな情報を得たいのか、何を望んでいるかということ整理して、良い方法でまとめていきたいと考えています。

原部会長 支援活動などをおこなっている方の生の声を聞くために、関連の団体の方を集めるような会を開催していくことも考えられると思います。ちょうど「審議テーマ3：外国人市民も住みやすいまちづくり」でも、今後、外国人の方を集めて意見を聞く場を設けていく方向になっています。高齢者支援、子育て支援の視点からも、そういった会を実施してもいいかもしれません。

森脇委員 マップづくりについては、ただ集めてワークショップをやるということではなく、我々がこういったマップを作りましょうという方法論を提案していくイメージです。マップの作成方法のマニュアルのようなものを目的も含めて、区民会議で作っていき、それを検証する場をワークショップで設けてもいいかもしれません。そして、実際にマップづくりをしてみて、ちゃんとできるのかどうかを修正していく流れになると思います。

原部会長 それをやるにしても、高齢者支援、子育て支援、外国人支援といった視点が必要になると思います。

新井(ト)委員 高齢者はインターネットを使えない方が多いので、やはり情報難民だと思います。

知念委員 高齢者、子育て世代、外国人がどのような情報を欲していて、支援す

る側の現状はどうなっているのかということ把握して整理しないといけな
いと思います。

原部会長 次回、1月の専門部会で、支援する側がどういったものを求めている
のか、どういった情報を求めているのかという視点を整理していき、その結果
がマップづくりになるのか、それとも違う取組になるのかはまだわかりません
が、皆さんのアイデアを持ち寄って整理しながら、少し具体的に議論していき
たいと思います。

森脇委員 次回の部会では、議論を効率よく行うために、ポストイットを用意し
て、ブレインストーミング的にやってはどうでしょうか。

原部会長 考えが固まっている方は、事前に事務局に書面で出していただくと
効率化が図れると思います。よろしくお願ひします。

<審議テーマ3：外国人市民も住みやすいまちづくり>

原部会長 前回の部会で配布してもらった「川崎市に住む外国人の皆さんへ」と
いう行政サービスの窓口と問い合わせが多言語で掲載されている冊子があり
ましたが、これは配布しているとのことですが、この中身についても、外国人
の方にあまり共有されていないと感じています。行政側の対応が縦割りなの
で、なかなか理解が難しいと思います。

例えば、国際交流協会がやっている相談窓口もあるし、区役所がやってい
る相談窓口もあるし、県民センターでやっている相談もあります。また、時間
も言語ごとに細かく区切られており、なかなか利用実績がない状況です。さ
らには、ふれあい館も区役所から委託されている翻訳通訳派遣事業というもの
があり、それが子どもに関することであれば、民生委員さんだっ使用できる
のに、利用実績はほとんどない状況です。

そういった意味では、外国人市民の方に、自分達が困ったときにどこに行け
ば相談できるのかということが複合的にわかるマップを区民会議で作成して
多言語化までしたいと、この第6期では考えています。高齢者支援、子育て
支援でも同じことがいえると思いますが、バラバラになっているものを横につ
なげて見える化していくことが大切です。

外国人市民向けの防災フォーラムは、実際に事業化されて取組が進められて
いますが、実際に行政が現場に加わった中で、外国人の方の意見を聞く場を設

けていきたいと^{かんが}考えています。

(2) 区民会議フォーラム(案)について(資料2)

区民会議フォーラム(案)について、「資料2：平成28年度第6期川崎区
区民会議フォーラム実施概要(案)」を用いて、事務局が説明を行った。
区民会議フォーラム(案)について、意見・コメントは出なかった。

(3) 審議スケジュールについて(資料3)

審議スケジュールについて、「資料3：審議スケジュールについて」を用い
て、事務局が説明を行った。
審議スケジュールについて、意見・コメントは出なかった。

3 その他

- 第6回の専門部会は1月31日(火)に開催予定である。

やまぐちふくくちょう
(山口副区長)

本日は熱心にご議論いただきありがとうございます。今後とも審議の方、どうぞよろしくお願ひします。

へいかいせんげん
■閉会宣言

ごごじふんへいかい
午後8時20分閉会

いじょう
(以上)